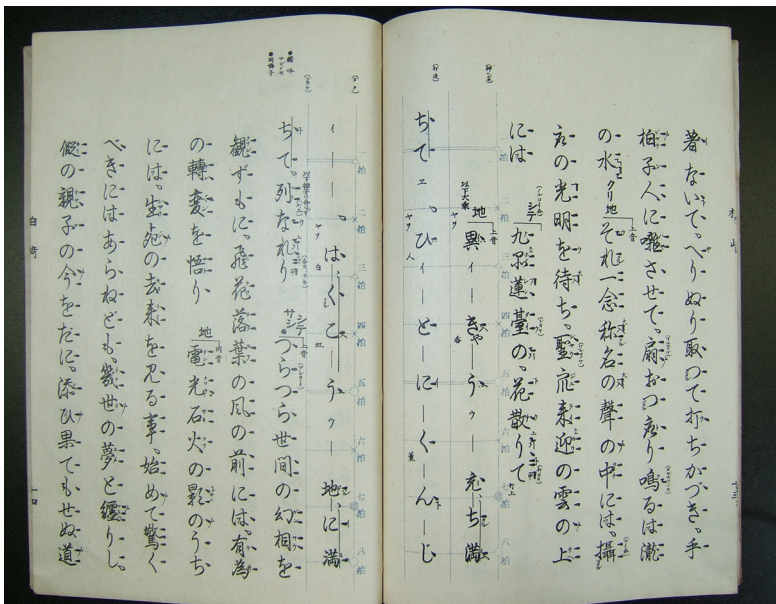
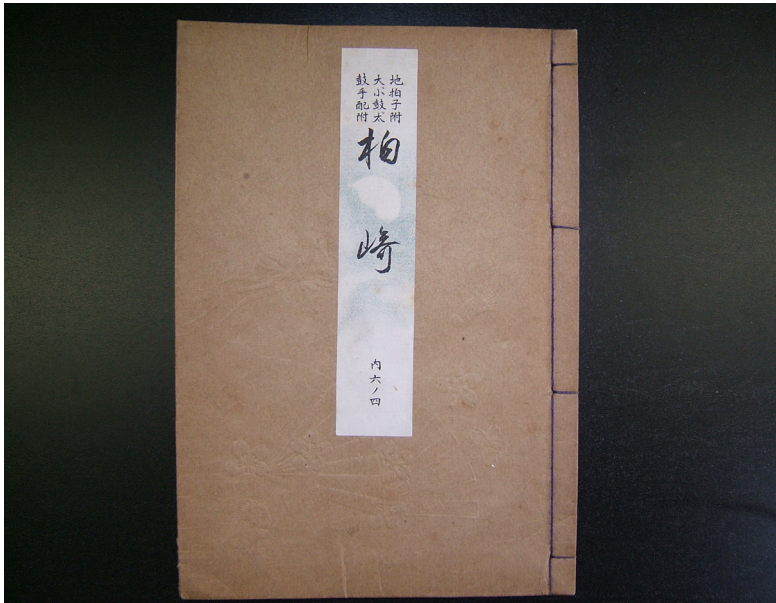


田崎延次郎 『大正十年四月檜常之助刊地拍子附謡本「柏崎」』

写真下は、柏崎の二段グセの前。クリのあとに、大乗地がはいり、サシへと続いていく部分である。八割の頭には、「押ヘル頭」「打返」「ヌク」「シカケ」と大鼓（高安流）の手の名称が記される。この部分には、小鼓の手が書かれてない。あとにつづくクセでは、高安流と葛野流の大鼓、大倉流と幸流の小鼓がそれぞれ色分けをして記される。



標題 内題…柏崎

標題紙…

奥附…

その他…柏崎（柱）、地拍子附大、小鼓。

太鼓手配附 柏崎 内六ノ四（題

簽

著者 奥附…田崎延次郎

その他の場所…

出版 版次…第一版

出版地…東京

出版社…檜大瓜堂書店

出版年…大正10（1921）

その他の場所…

形態 冊数…一冊 頁数…二〇丁

寸法…23×16（cm）

状態 写本版本の別…版本 現物複写の別…現物

備考